

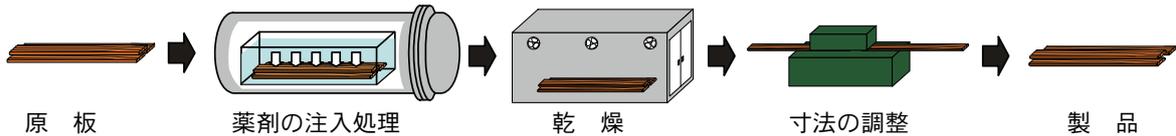
安全・安心・快適な高付加価値製品の開発

公共建築物等の内装に使用する防火木材について

性能部 耐久・構造グループ 河原崎 政行

防火木材とは

燃焼を抑制する薬剤を、減圧加圧注入処理等により注入して、一定水準の防火性能を付加した木材。



防火木材の種類

種類	要求時間	要求性能
不燃材料	20分間	①燃焼しないこと
準不燃材料	10分間	②防火上有害な変形、溶融、亀裂、その他の損傷を生じないこと
難燃材料	5分間	③避難上有害な煙、又はガスを生じないこと

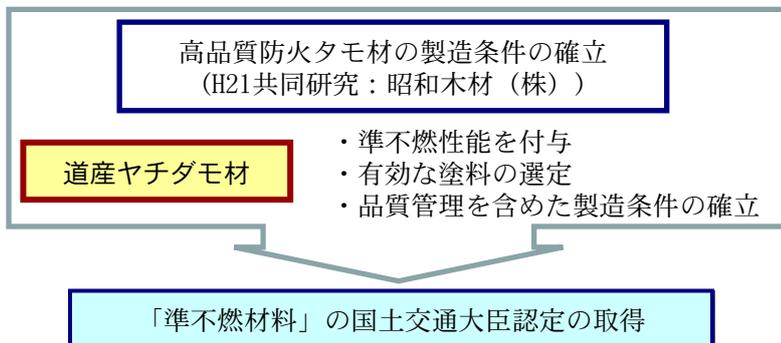
種類により使用できる内装の場所が異なる。**準不燃材料**であれば、ほとんどの場所に使用できる。

燃焼試験の様子



普通の木材 防火木材
防火木材は、加熱しても炎が上がらず、燃焼が抑制されている。

これまでの成果



実用化



JR旭川駅の新駅舎

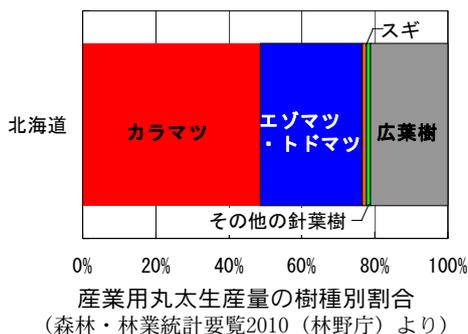
今後の展開



公共施設等の内装は防火上の制限が適用

地域材を用いた防火木材の需要増加

地域材：道内の森林から産出され、道内で加工された木材



主要樹種の利用

道産木質防火材料の製造技術の開発 (H23~25)

課題

- ・カラマツ材、トドマツ材は薬剤の注入が難しい
- ・製品の品質管理が難しい
- ・製品価格が高い
- ・生産性が低い

検討項目

- 注入処理技術の開発
- 生産性向上への検討
- 高品質化への検討